



- 【ご案内】
- ・対談の登壇者からのメッセージ
 - ・パネルディスカッション
 - ・キャリアマンス（大会関連企画）

対談

「治療と仕事の両立支援 病気を観るのではなく“経験”を観る」



働き方改革実行計画に基づき厚生労働省労働局が事務局となり47都道府県に治療と仕事の両立支援について支援推進チームが発足して1年、構成員としてJCDAも参画しています。具体的に治療と仕事の両立について活動を進めておられるお2人から、現場で何が起きているリアルなお話と対談を通して、わたしたちCDA・キャリアコンサルタントに何が出来るかを共に考える場にします。

◆砂川 未夏 氏（話題提供者）

JCDA治療と仕事の両立支援促進プロジェクトリーダー、JCDA-N1研究会（がん等の有病者へのキャリア支援～仕事と治療の両立～）座長、がん・キャリア 代表

《メッセージ》 みなさん、こんにちは。2人に1人ががんになる時代、医療の進歩により病気と共に働くことは“日常の経験”になりつつあります。しかし、社会が追いついていません。「共に生きる」とは人と社会をツナグこと。そのために、正しく知ることから。内省を通して人の成長に働きかけるCDAの専門性をどう活かすか、は私たち次第です。

◆杉山 絢子 氏（話題提供者）

国家公務員共済組合連合会 斗南病院 腫瘍内科 医長、一般社団法人CANnet 代表理事

《メッセージ》 「がん・病気」は「内部障害」と言われ、困っていることが分かりにくいことがあります。当事者と周囲の間での認識のギャップが、当事者を傷つけ、就労の難しさにつながることもよく経験します。今回、〇×クイズや、経験者の心と体のグラフを使い、がんや病気と就労に関する現状や課題についてお伝えできたらと思います。

◆設楽 幸子 氏（司会）

有限会社ピーエスアップ 取締役、JCDA治療と仕事の両立支援促進北海道担当、北海道地域両立支援推進チーム構成員（事務局：厚生労働省北海道労働局）

《メッセージ》 誰もが病気と共存する時代。病気になっても自分らしく未来へ前進するために、私たちにできること。それは、個人に寄り添い、経験を共に観て・聴いて、その言葉の裏側にある気持ちを読み解き、未来へ共に前進すること。

パネルディスカッション

「今こそ 私たちのチカラを活かせ!!」～せっかく取得した資格、社会で活かしていますか？



様々な分野で資格を活かしているCDA、キャリアコンサルタントや企業の方をパネリストとして3名お招きし、会場参加者も振り返りと気づきの共有セッションに参加していただきながら、私たちの今後の活躍のヒントを探ります。

- ◆武田 勝 氏（パネリスト） 北海道ガス株式会社監査役室長
- ◆島 一浩 氏（パネリスト） 千歳市議会事務局長
- ◆平井 照枝 氏（パネリスト） しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道代表
- ◆武藤 俊雄 氏（司会） 北海道大学公共政策大学院専任講師

キャリアマンス（大会関連企画）

実施期間 2018年5月1日～6月20日

イベントを開催する方は、是非、大会事務局に事前登録をお願いします。

